

部 局	財務部	補 職	部長	氏 名	太田 優子
-----	-----	-----	----	-----	-------

1. 部局の使命

（１）本市が「住み続けたいまち」として持続的な成長を遂げていくため、歳入・歳出、資産・負債の総合的な管理をとおして財務面から市政運営上の課題へアプローチし、市の発展を支える財務基盤を築きます。

（２）財政運営の責任部門かつ最大の歳入部門として、さらに市有資産を経営資源ととらえる資産活用をとおして財源を創出し、市政運営を支えます。

（３）社会経済状況の変化に対応し新たな市民サービス等の展開を持続的に可能なものとするため、財務リスクを捕捉し、財務規律を確保します。

2. 使命を遂行するための取組み方針と、それに基づく取組みの総括

方針	取組みの総括
（１）「経営戦略方針」等にもとづき、部内各課が有する情報・知見・手法を結集し、「物価高騰」「社会保障関係経費の増大」「公共施設等の老朽化」など今後の市政運営上の課題を打開するための全市的な取組みにつなぎます。 （２）財源の創出に関しては、財政運営・予算編成執行における徹底した精査はもとより、歳入確保、資産活用、建設コスト縮減など、部の所管分野においてあらゆるアプローチをとおして臨みます。 （３）部の事業・業務に関しては、公民連携やAIやデジタル化に対応した取組みなどさまざまな業務改革を進め、生産性の向上に取り組みます。 （４）これらの取組みについて、市民の共感と協力を得るため、わかりやすく効果的な情報発信・丁寧な対応などを通じて市民との関係構築に力を注ぎます。 （５）部の使命・方針の共有、各課の業務や課題等の情報共有、現場感覚のブラッシュアップ等により、業務が異なるセクション間においてもそれぞれの業務に対する相乗効果を生み出すとともに、相互に良い影響を与え合うことで、職員のエンゲージメントの向上を促します。 （６）「未来への投資」を確実に進められるよう、財源の創出、事務のアップデートなどの「変革」に取り組むとともに、財務リスクを捕捉し、適切な財務規律の確保に取り組みます。	【今年度末に記載】

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	未来への投資のための財務マネジメントの推進【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 中期財政計画の改定 ① (2)～(4)の取組みを踏まえ9月に改定します。 (2) 「子育てしやすさNo.1」、「基本政策」、「経営戦略」等に沿った投資の重点化と予算編成 ①肉付予算を確実に編成します。 政策・施策等に沿った予算編成を実施(～7月) ②「予算フレーム」の効果的な設定に取り組みます。 重点投資フレームの設定(～8月) 中期財政計画、経営戦略方針に反映(9月) ③将来負担の低減につながる予算編成を行います。(9月～) ④経費増大傾向に全部局で抑制に取り組みます。(継続) 社会保障関係経費・物件費・人件費・公債費の推移を踏まえた適切な予算編成と学校をはじめとした公共施設更新への予算対応(継続) (3) 公共施設等総合管理計画の中間見直しと公共施設等再編に向けた企画調整等 ①公共施設等総合管理計画の中間見直しにあたり、社会経済情勢、維持管理経費、管理運営手法、施設機能等の整理を行い、見直しを進めます。(継続) ②公共施設の機能を見直し、複合化・多機能化に向けた調整等を進めます。(継続) ③『地域コミュニティ拠点施設再整備プラン』に沿った取組みを地区会館を含め引き続き実施します。(継続)		
総合計画			
5-2-	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
41	子どもから高齢者までみんなが集える地域交流の場を創設	43	コミュニティ政策の深化と地域の支えあい強化
75	未来への投資を確実に実行するための財務マネジメント	76	市有資産を経営的視点をもって整備・活用・リニューアル

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	積極的な財源の創出と着実な歳入の確保【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 市有地利活用及び公共施設再編の両面戦略の推進 ①旧野田小ほか跡地利活用について事業者募集、サウンディング調査等各種事務を適切に進めます。(継続して実施) ②市有地利活用事業者等と調整を確実にを行います。(継続) ③公共施設等総合管理計画の中間見直しにあたり、さまざまな観点から見直しを進めます。(継続)【再掲】 ④施設の多機能化・複合化等について関係部局や地域等と調整を進めます。(継続) ⑤引き続き、不調回避に留意しつつ、案件ごとの建設コスト縮減を実践します。(継続) (2) 課税客体の把握・評価替えの確実な準備 ①市民税の未申告調査等を継続して実施します。 ②固定資産税の登記・実測の相違把握を行い、R9年度評価替えに向けて着実に準備を行います。(継続) (3) 債権回収整理の高度化 ①架電応答率の向上手法の検討や多様な納付勧奨手法の検討及び納付環境の整備を進めます。(継続) ②専門研修等により知識・技術の底上げをはかります。(継続) ③債権回収対策会議等を活用し、引き続き全庁的な債権回収整理の高度化を図ります。(継続) (4) その他『歳入確保戦略』にもとづく取組み ①『債券運用戦略』に基づく運用〔拡充〕 ②クラウドファンディングの発展的活用等〔拡充〕 ③ふるさと納税にかかる新たな返礼品の発掘や補助制度の検討、返礼品事業者支援の実施〔拡充〕 ④口座振替促進のためキャンペーンの実施(継続) ⑤施策反映のための汎用的な税データの提供を検討(継続)		
総合計画			
5-2-	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
60	ふるさと納税を活かした地域経済の活性化	70	ご寄附により施策の応援をいただけるようなしくみを構築
75	未来への投資を確実に実行するための財務マネジメント	76	市有資産を経営的視点をもって整備・活用・リニューアル

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	デジタル化への対応と業務改善	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) デジタル活用による生産性の向上 ① 共通納税システムの利用拡大による公金収納デジタル化について、地方税共同機構との連絡調整をはかりながら関係部局と連携して推進し、令和8年9月の導入を進めます。(継続) ② 滞納整理システムの活用を全庁で促進し、債権管理の適正化を進めます。(継続) ③ 業務のアナログ的部分の洗い出しとデジタル技術の活用を進めます。(継続) ④ 電子申告や電子申込などに連動した事務整理をすすめ、効率化を図ります。(継続) ⑤ 政策・施策実施に資する各課所管の保有データの共有に向けてデータ整理を行います。〔拡充〕 (2) 事務事業の効率的・効果的な見直し ① 事務事業の効率的・効果的な実施のため、事業手法などを多角的・継続的に見直しを行います。〔拡充〕		
総合計画			
	5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	5-2- (2)	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます
基本政策			
67	窓口サービスのレベルアップ	75	未来への投資を確実に実行するための財務マネジメント
77	都市経営を推進し改革を止めない組織体制の強化		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	人づくり・組織づくり	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 計画的な人材育成 ①職員一人ひとりの経験（技術・技能・知識）に応じた計画的な人材育成を行います。（継続） ②職員の知識・技能等を共有するしくみ（目標管理・研修・OJT）を踏まえて職場全体のさまざまな意識向上につなげます。（継続） ③人事課主催研修、外部研修等の積極的な受講をすすめます。（継続） (2) 部内エンゲージメント向上のための取組み ①資格取得など知識・技術の習得及び活用を促進します。（継続） ②部内での各課業務の共有、全市的な施策への貢献状況の理解など、エンゲージメント向上のために必要な取組みを進めます。（4月～）		
総合計画			
5-2-	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
77	都市経営を推進し改革を止めない組織体制の強化		

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	災害対応の強化		【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 災害対応体制の強化 ①災害対応マニュアル、業務継続計画を更新します。(継続) ②市有施設の被害状況の報告について、庁内に向けて発信を行います。(継続)			
	(2) 調査スキルの維持、業務のICT活用 ①業務継続に資する幅広い知識を獲得できるよう多種多様な業務を経験できる機会を創設します。(継続) ②被災者支援システムの活用とともに、部内体制整備、訓練等を実施します。(継続)			
総合計画				
	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	5-2- (2)	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます
基本政策				
	33	生活インフラ防災対策の強化		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	市民へのわかりやすい情報発信と関係づくり	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 『財務部情報発信質的強化コンセプト』に基づいた情報発信 ①さまざまな通知文書等について、説明をより丁寧に、わかりやすいものにしていきます。(継続) ②ホームページも理解と共感を得られるような内容にするよう取り組みます。(継続) 「とよなかのお財布事情」・「パッとわかる財政状況ボード」の更新や公共施設に関する発信を継続します。(継続) ③「寄附文化の醸成」に引き続き取り組みます。(継続) ④SNSや動画など多様な情報発信を進めます。(継続) (2) 来庁者・関係者とのコミュニケーションをとおした信頼関係の構築 ①電話、窓口での応対を引き続き丁寧に取り組んでいきます。(継続)		
総合計画			
5-2-	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
52	豊中の魅力・政策に共感する情報発信	67	窓口サービスのレベルアップ
70	ご寄附により施策の応援をいただけるようなしくみを構築		

当年度目標(当初設定)		実績				
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性			
7	変革の推進への取組み	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】			
	(1) 歳入の拡大に向けた取組み ①ふるさと納税にかかる新たな返礼品の発掘や補助制度の検討、返礼品事業者支援を実施します。【再掲】 ②有料広告にかかる取組みや事業スキームの検討を進めます。〔拡充〕 ③市有地利活用に向けた確実な取組みと未利用地の活用の検討を進めます。(継続) ④使用料・手数料の見直しに取り組みます。【再掲】 (2) 戦略的な資産活用 ①中学校給食受託事業者との契約事務等各種事務を確実に実施します。(継続) ②施設の多機能化について関係部局や地域等との調整を進めます。【再掲】 ③施設の建設・改修にあたって、関係部局等と連携して環境に配慮した設計を検討します。(継続) ④未利用地の活用について、引き続き検討を進めます。【再掲】 ⑤公共施設等総合管理計画の中間見直しにあたり、さまざまな観点から中間総括を行い、見直しを進めます。【再掲】 (3) DXの推進 ①電子申込の拡大や手続きのデジタル化について、調整を進めます。(継続)【再掲】 ②共通納税システムの利用拡大による公金収納デジタル化について、地方税共同機構との連絡調整をはかりながら関係部局と連携し、令和8年9月の導入を進めます。(継続)【再掲】 ③施策反映のための汎用的な税データの提供を検討します。(継続)【再掲】					
	総合計画					
	5-2- (1)			公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	5-2- (2)	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます
	基本政策					
67	窓口サービスのレベルアップ	75	未来への投資を確実に実行するための財務マネジメント			
76	市有資産を経営的視点をもって整備・活用・リニューアル	77	都市経営を推進し改革を止めない組織体制の強化			

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など			スケジュール(工程)		
1	未来への投資のための財務マネジメントの推進			(1) 好循環の形成・社会保障関係経費増大の打開 ①関係課と連携した社会保障関係経費の伸びの分析と対応：継続 (2) 公共施設老朽化問題の打開 ①市有地利活用と一体化した公共施設の再編：継続 ②地域コミュニティ拠点施設再編に向けた地元調整：継続		
	(1) 基本政策実施に伴う投資財源(資源)の確保や、臨時・経常経費それぞれのコスト効率を高めるとともに、歳入につながる基本政策間の相乗効果・好循環の創出を図ります。					
	(2) 社会保障関連経費の増大・公共施設等の老朽化に関し、中期財政計画、財政シミュレーションを踏まえ、経費の縮減、歳入の確保などについてさまざまな創意工夫を行い、あらゆる手法を検討し適切な財政運営を継続します。					
	(めざす成果) *都市経営の好循環の形成 *社会保障関係経費・公共施設老朽化にかかる経費増大に対応しつつ持続的な市民サービスの継続をめざす財務規律の確保					
総合計画						
5-2- (1)		公正で効果的・効率的な市政運営を進めます				
基本政策						
75		未来への投資を確実に実行するための財務マネジメント	76	市有資産を経営的視点をもって整備・活用・リニューアル		
積極的な財源の創出と着実な歳入の確保						
2	(1) データ利活用と施策への反映のための取組みをすすめます。			(1) 税データ利活用と施策への反映の取組み ①施策反映のための税データの提供：継続 (2) 市有地起点の財源創出を具体化、新たな手法の導入 ①個々の案件による財源創出：継続 ②不動産証券化手法による具体事業開始：R9年度(2027年度) ③建設コスト縮減の定着：継続 (3) 課税客体の把握・債権回収整理の高度化 ①課税客体の把握：継続 ②債権回収整理スキルの向上：継続 (4) クラウドファンディングの活用拡大：継続		
	(2) 市有地利活用と公共施設等再編を包括的に進めることで両者の相乗効果を発揮し、市域の発展につなぎます。					
	(3) 収納徴収業務の適正な実施に向け全庁調整を継続し、公正公平な市民負担のあり方と財源確保を実現します。					
	(4) 寄附文化の理解を広げ、クラウドファンディングの積極的な活用を進めます。					
(めざす成果) *税収の着実な向上 *寄附文化の浸透 *資産活用と長期的な本市のまちづくりとで相乗効果の発揮 *建設コスト増大期の効果的な財源調達・財政負担の軽減と平準化 *債権回収整理手法の多様化						
総合計画						
5-2- (1)		公正で効果的・効率的な市政運営を進めます				
基本政策						
60		ふるさと納税を活かした地域経済の活性化	70	ご寄附により施策の応援をいただけるようなしくみを構築		
75		未来への投資を確実に実行するための財務マネジメント	76	市有資産を経営的視点をもって整備・活用・リニューアル		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
3	デジタル化への対応と業務改革の推進 （１）業務の簡素化・ICTの活用により、従来からの定型業務については生産性を向上することをめざし、それにより新たな取組み等、非定型かつ創造的な業務にシフトし、業務全体の成果を向上させます。 （２）業務の簡素化・自動化を実施したうえで、事業者との協働により恒常的に業務改善を継続する体制の確立を図ります。 （めざす成果） ＊デジタル化社会に適合した業務の進め方と働き方の確立 ＊市民が手続きでの来庁不要 ＊定型的業務は基本ICT化		（１）業務簡素化、電子申請化、ICT活用による生産性向上及び部内ICTシステムの次世代型への更新：継続的に実施 ①国データの連携に伴う事務見直し：継続 ②eLTAXの進化に合わせた公金収納デジタル化対応：R8年度（2026年度）～ （２）市民の利便性向上及び恒常的な業務改善 ①行政財産使用許可にかかる決定通知等処分通知の電子化の検討：R8年度（2026年度）～ ②納税通知書の電子化：国の動きに合わせて ③業務の電子化への対応：継続	
	総合計画			
	5-2-（1）	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
	基本政策			
	67	窓口サービスのレベルアップ	77	都市経営を推進し改革を止めない組織体制の強化
4	人づくり・組織づくり （１）自ら課題設定し自学成長するプロフェッショナルたる職員像及び組織のあり方を確立します。 （２）市政を取り巻く環境に柔軟かつ高レベルで対応するため、職員一人ひとりの経験（技術・技能・知識）に応じた人材育成に取り組みます。 （３）従来業務を着実に執行するに留まらず、常に新たな取組みに挑戦する組織風土を定着させます。 （めざす成果） ＊職員のワークエンゲージメントの向上と、ワークエンゲージメントを高める組織の実現 ＊新たな業務に適合したプロ職員像と自己研鑽の定着及び新時代のプロ職員による安定した業務執行 ＊新たな取組みに挑戦し、常に学び変化し続ける組織風土の定着		（１）人材育成 ①OJTのたゆまぬ改善向上：継続 ②独自研修の実施：継続 （２）組織風土の確立 ①ワークエンゲージメントを高める職場の土壌づくり：継続 ②職場改善等現場発の発想に基づく改善および順次拡大：継続	
	総合計画			
	5-2-（1）	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
	基本政策			
	77	都市経営を推進し改革を止めない組織体制の強化		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)		
5	災害対応の強化 （１）地震・風水害それぞれに的確な初動を行うとともに、調査など現場稼働については必要に応じて応援を受けながら体制を立ち上げ、スピーディーに処理する流れを確立します。 （２）調査スキルの維持、業務のICT活用やフローの効率化に継続して取り組みます。 ①多種多様な業務を経験できる機会を設け、幅広い知識を有する人材を育成 （めざす成果） ＊地震・風水害・感染症それぞれの対応の確立と職員スキルの維持		（１）災害対応体制・迅速な処理 ①体制強化：継続 ②マニュアル等の見直し・改訂：継続 ③災害時応援体制の構築：継続 （２）調査スキルの維持・効率化 ①多種多様な業務を経験できる機会の確立：継続 ②ICTを活用したフローの構築：継続		
	総合計画				
	5-2-（1）	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます			
	基本政策				
	33	生活インフラ防災対策の強化			
6	市民への発信強化と関係づくり （１）情報発信のチャンネルの強化や地域とのつながり強化の取組みにより、財政運営・税・資産等の財務に関する市民の理解を確実に進め、市政への信頼が向上するような新たな取組みを継続して実施します。 ①市ホームページの随時更新、内容の充実 ②コミュニケーションのあり方について、各職員が課題として共有し、コミュニケーション力を向上 （めざす成果） ＊財務に関する市民の理解と市政への信頼感向上 ＊一般の多数市民が市の財務および市政を信頼		（１）市民への発信強化と関係づくり ①『情報発信質的強化コンセプト』に基づいた情報発信：継続 ②業務をとおした対話・関係づくり：常に向上をめざしつつ継続		
	総合計画				
	5-2-（1）	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます			
	基本政策				
		52	豊中の魅力・政策に共感する情報発信		